

2020年6月2日  
株式会社インプレスR&D  
<https://nextpublishing.jp/>

テキストエディタ Vim の世界によこそ！  
**『Vim が好きになる本』発行**  
技術の泉シリーズ、6月の新刊

インプレスグループで電子出版事業を手がける株式会社インプレスR&Dは、『Vim が好きになる本』(著者:ゴリラ)を発行いたします。

最新の知見を発信する『技術の泉シリーズ』は、「技術書典」や「技術書同人誌博覧会」をはじめとした各種即売会や、勉強会・LT 会などで頒布された技術同人誌を底本とした商業書籍を刊行し、技術同人誌の普及と発展に貢献することを目指します。

**『Vim が好きになる本』**

<https://nextpublishing.jp/isbn/9784844378792>



著者:ゴリラ

小売希望価格:電子書籍版 1800 円(税別)／印刷書籍版 2000 円(税別)

電子書籍版フォーマット:EPUB3／Kindle Format8

印刷書籍版仕様:B5 判／カラー／本文 134 ページ

ISBN:978-4- 8443-7879-2

発行:インプレス R&D

<<発行主旨・内容紹介>>

多くのユーザーに愛されるテキストエディタ Vim の解説書です。Vim の基本操作から、便利なコマンド、更にプラグインの作り方で解説しています。もっと深く Vim を知りたい人から、Vim 初心者にも楽しめる内容です。

(本書は、次世代出版メソッド「NextPublishing」を使用し、出版されています。)

# Vimの基本操作を解説

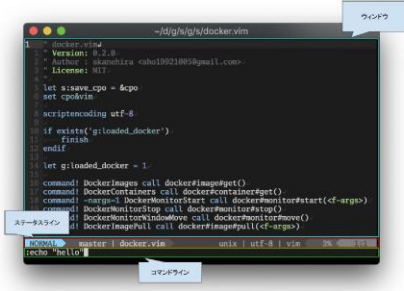
## 第2章 Vimの基本操作

本章では、Vimの必要最低限の操作方法を解説していきます。以降、記載がなければ、ノーマルモードでの操作です。モードについては、第4章で解説します。

### 2.1 Vimの画面について

基本操作の前に、まずは画面構成から解説します。Vimの画面の主な構成は、図2-1のようになっています。構成の詳細は、各章にて解説します。

図2-1: 画面構成



### 2.2 ファイルを開く

Vimでファイルを開くときは、vimコマンドの引数にファイルを指定します。

```
vim gorilla.txt

vimの起動後でも次のように、いくつかのExコマンド1)でファイルを開く方法があります。

:edit gorilla.txt

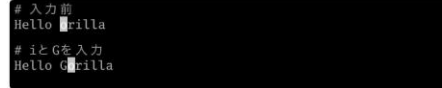
:new gorilla.txt

:vnew gorilla.txt
```

### 2.3 入力

文字を入力するときは、iコマンド<sup>2)</sup>で挿入モードに切り替えてから入力を行います。

図2-2: iで入力



Escで挿入モードからノーマルモードに切り替えることができます。挿入モードでも矢印キーによるカーソル移動は可能ですが、ノーマルモードの方がテキスト編集に特化しています。なので、基本的に文字入力以外は、ノーマルモードで操作したほうが効率が良いです。ただ、カーソル移動は必ずしもノーマルモードで行う必要はないので、どうしても慣れない方は矢印キーでも良いと思います。

### 2.4 カーソル移動

Vimには様々な移動コマンドがあります。カーソル移動の速さは編集の速さに直結します。Vimで高速編集できる理由のひとつに、カーソル移動のバリエーションの豊富さがあります。では、主な移動コマンドについて解説していきます。

# 様々な機能を紹介

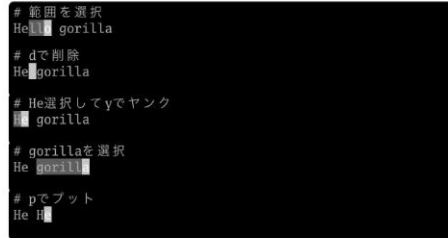
## 第7章 ビジュアルモード

ビジュアルモードはテキストを選択して、その範囲を編集することができるモードです。このモードは少し特殊で、3つの範囲選択方法があります。それぞれ用途が異なります。本章では基本的な操作方法と、どのような場面でどの選択方法を使用するかについて、解説していきます。

### 7.1 基本的な使い方

ビジュアルモードでは基本的に、選択した範囲に削除、ヤンク、プットといった操作を行うことができます。第5章で解説したモーション、オペレーター、テキストオブジェクトなどは、ビジュアルモードに続けて実行することができます。削除、ヤンク、プットの基本操作の例を次に示します。

図7-1: 基本操作



### 7.2 文字単位の範囲選択

vで文字単位の範囲選択を行うことができます。たとえば、2文字だけを削除する場合は、次のようになります。

図7-2: 文字単位選択

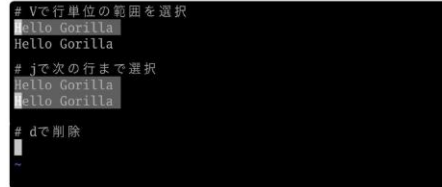


ビジュアルモードを使わない場合は、2dで2文字を削除することができます。ですが、選択した範囲がわかりやすいという利点があるので、筆者はビジュアルモードを積極的に使用しています。

### 7.3 行単位の範囲選択

Vで行単位の範囲選択を行うことができます。

図7-3: 行単位選択



### 7.4 矩形選択

矩形選択はブロック選択を行うことができます。

## 詳細な設定解説も掲載

リスト 12.5: 行番号

```
1: * 行番号
2: set number
3:
4: * 相対的な行番号
5: set relativenumber
```

図 12.2: 相対的な行番号



12.7 検索

次の設定を行うことで、検索が少し便利になります。

リスト 12.6: 検索

```
1: * 検索結果をハイライトする
2: set hlsearch
3:
4: * 検索時大文字・小文字を区別しない
5: set ignorecase
```

```
6:
7: * 検索時、大文字を入力した場合、大文字・小文字を区別する
8: set smartcase
9:
10: * 文字を入力するたびに、その時点でパターンマッチしたテキストをハイライト
11: set incsearch
```

12.8 Undoの永続化

Undoはファイルを開くと変更履歴も消えるため、一度閉じるとUndo/Redoできなくなります。そのため、変更履歴を保存することで、再度ファイルを開いてもUndo/Redoできるようにする必要があります。次の設定で、`~/vim/undo`というディレクトリ配下に変更履歴を保存します。ディレクトリを変えたい場合は、`expand()`内の部分を書き換えてください。

リスト 12.7: Undo履歴保存

```
1: if has('persistent_undo')
2:   let undo_path = expand('~/.vim/undo')
3:   " ディレクトリが存在しない場合は作成
4:   if !isdirectory(undo_path)
5:     call mkdir(undo_path, 'p')
6:   endif
7:   let &undodir = undo_path
8:   set undofile
9: endif
```

12.9 タブ

挿入モードではTabキーでタブを挿入することができますが、プロジェクトによっては、スペースで統一しているところもあります。そういった場合に次の設定を行うと、タブを自動的にスペースに展開してくれます。ちなみにこの設定では、改行するときに自動で入力されるインデントも、スペースとして展開します。

リスト 12.8: タブの展開

```
1: * 展開するスペースの個数
2: set Tabstop=4
3:
4: * タブをスペースに展開
5: set expandtab
```

80 | 第12章 設定

第12章 設定 | 81

## <<目次>>

- 第1章 Vimの良さ
- 第2章 Vimの基本操作
- 第3章 バッファとウィンドウとタブページ
- 第4章 モード
- 第5章 ノーマルモード
- 第6章 挿入モード
- 第7章 ビジュアルモード
- 第8章 コマンドラインモード
- 第9章 置換モード
- 第10章 Terminal-Job モード
- 第11章 ヘルプ
- 第12章 設定
- 第13章 プラグイン
- 第14章 Vim script
- 第15章 Vim9 script

## <<著者紹介>>

ゴリラ

普段はSE・PGとして仕事をしています。趣味はOSS作りでよくVimプラグインやGo関連の物を作っています。普段からVimを愛用していて、執筆、記事、コーディングは全てVimを使っています。

## <<販売ストア>>

### 電子書籍:

Amazon Kindle ストア、楽天 kobo イーブックストア、Apple Books、紀伊國屋書店 Kinoppy、Google Play Store、honto 電子書籍ストア、Sony Reader Store、BookLive!、BOOK☆WALKER

### 印刷書籍:

Amazon.co.jp、三省堂書店オンデマンド、honto ネットストア、楽天ブックス

※ 各ストアでの販売は準備が整いしだい開始されます。

※ 全国の一般書店からもご注文いただけます。

### 【インプレス R&D】 <https://nextpublishing.jp/>

株式会社インプレス R&D(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:井芹昌信)は、デジタルファーストの次世代型電子出版プラットフォーム「NextPublishing」を運営する企業です。また自らも、NextPublishingを使った「インターネット白書」の出版など IT 関連メディア事業を展開しています。

※NextPublishing は、インプレス R&D が開発した電子出版プラットフォーム(またはメソッド)の名称です。電子書籍と印刷書籍の同時制作、プリント・オンデマンド(POD)による品切れ解消などの伝統的出版の課題を解決しています。これにより、伝統的出版では経済的に困難な多品種少部数の出版を可能にし、優秀な個人や組織が持つ多様な知の流通を目指しています。

### 【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:唐島夏生、証券コード:東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「旅・鉄道」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

### 【お問い合わせ先】

株式会社インプレス R&D NextPublishing センター

TEL 03-6837-4820

電子メール: [np-info@impress.co.jp](mailto:np-info@impress.co.jp)